

2021.5.26



国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク Holger Knaack

国際ロータリー第2530地区ガバナー 石黒 秀司

福島南ロータリークラブ 会長 松崎 弘昭

標語「後から来る者の種火となって共に熱く燃えよう」

例会会場連絡先/クーラクーリアンテナパレス TEL 024-523-3811 毎週水曜日 12:30~

◆会長挨拶 松崎 弘昭 会長



新緑の瑞々しさに心が洗われ、山気の匂いを求めて吾妻の浄土平に車を走らせていると高湯あたりから小雨と霧が立ち籠めて朦朧とした視界が広がった。車道を気にしながら不動沢辺りになると一瞬それが消えて陽光が全山を照らし、様々な色相を帯びた光景に目を奪われました。

さて、二週続けて例会が休会になって会員の皆様と顔を合わせてお話しが出来ないことに、何か忘れ物でもしたような気分になっているのは私だけでしょうか。

コロナウイルスのお蔭で、外で遊ぶことも少なくなり、読書の秋でもないのに本を読む機会が多くなっているかも知れません。世間では昔から「若い時には沢山の本を読んでおきなさい」と言われていましたが、天邪鬼の私は、その言い付けを守らなかったため、今になって苦労しています。

考えてみると、確かに、学生時代に学校で習うような勉強は疎かにしていましたが、よし悪しは別として自然体験と社会勉強は、それなりにしてきたような気がします。

私自身、64歳の今は、ロータリークラブに入会したお蔭で、お奨め出来ないような社会勉強は少なくなり、前向きな勉強は、若い時の何倍もするようになりました。といっても、決して自慢しているわけではありません。要するに、若い時の基準が低いだけなのです。

人間の脳細胞は二十歳を過ぎると新しくできる細胞より、崩壊する細胞のほうが上回るそうです。そのため、頭をフルに活性化させて新しくできる細胞を少しでも増やし、崩壊していく細胞の割合を少なくすることで、脳の老化を遅らせるのです。

そして、脳の活性化には、適度な運動も欠かせません。健全な精神は、柔軟な心と柔軟な体に宿ります。

6月12日(土)には、福島21RCが主幹する分区分のマイヘルシーアクション(健康と福島を知る)という、福島市のシンボルとなっている信夫山の散策する行事が予定されています。

護国神社で健康祈願をして、信夫山の歴史を学び、古閑裕而記念館、信夫山天満宮神牛へ至る約4kmの道程を会員家族とともに楽しめます。

久しぶりの野外活動に、密を避けながらも気持の良い汗をかいてみては如何でしょうか。

次回6月2日(水)第43回例会プログラム

1. 開会点鐘
2. 会長挨拶
3. ゲストスピーチ (福島県信用保証協会会長 畠 利行 様)
4. 幹事報告
5. 閉会点鐘

※コロナ禍中の例会について
 福島県の非常事態宣言は先月末で終了となりましたが、引き続き6月1日から30日までの間、感染再拡大防止のため、重点対策を実施するよう福島市長からのメッセージも出ております。今回の例会は、時間短縮、食事は弁当で開催する事になりました。今後もコロナの感染状況を見ながらの例会開催となります。皆様と皆様の大切な方々のために、ご理解、後協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。

【 例会 予定 】

6月9日(水) ゲストスピーチ(宗形 守敏 様)

例会終了後 2021-2022 年度第1階理事会

【 地区・分区・その他関連行事 】

6月12日(土) My Healthy Action(健康を考え、福島を知る)

健康レクリエーション(信夫山散策)

◆2021-22 年度 地区研修・協議会報告 一條 浩孝 会長エレクト

5月16日(日) 会長会と分科会がZoom参加、全体会議がYouTube配信とコロナ対策に配慮した開催でした。

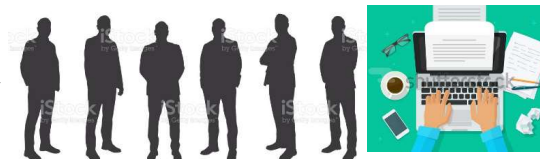
会長会では2021-22年度地区賦課金と地区予算の承認が行われ、分科会では次年度会長として「クラブ会長の役割と責務」「2021-22年度地区運営方針・活動計画」「規則・手続き委員会の活動計画」に参加、それぞれ学ばせていただきました。

印象的だったのは、やはり会員減少対策=会員増強です。一人でも多く入会させること、女性会員を増やすこと。そして退会者を減らすことです。しかしなぜ会員数が減っているのか、その根本となる原因を探ってはいないように感じました。

次年度、会長としてやらなければならないことが次々に訪れ、それを卒なくこなすだけで精いっぱいになってしまうのかも知れません。しかし多少粗末な点が出てしまったとしても、クラブの魅力を上向きさせるため、変化をもたらす方にも力を注いでみたいと考えております。ご理解いただければ幸いです。

【編集後記】 <<1年間の振り返り(活動報告)>> クラブ会報委員会一同

- 委員長: 齋藤 弘之 委員: 中村 康司
 副委員長: 穴戸 隆司 委員: 木村 昇
 副委員長: 渡辺 雅浩 委員: 大本 雅晴



会報委員会副委員長 穴戸 隆司 ~会報を担当して~

いよいよ6月の例会を残すのみとなり、少しホッとしております。当初、会報委員会に名前が載っていたのを見たときは、「夢ったな~」と言うのが本音でした。言わずもがな、PCが苦手な私のパソコンはメールだけのためにあるようなものでしたので(笑)でも、得意な人がやってくれるのかな?などと思っておりました。

そこは、さすが齋藤委員長、「みんなで持ち回りでやりましょう」と先手を打たれ、担当月が来ると四苦八苦、あたふたと事務員の手を借りての製作でしたが、齋藤委員長の手助け(校正)もあり、何とか無事終了できそうです。

一つの救いは、渡辺副委員長も同様らしく、お互い鼓舞しての?いや 傷を管め合いで気持ちが少し楽になりました。(コロナが落ち着いたら、慰労会でもやりたいな)皆様には大変お世話になりました。感謝

会報委員会副委員長 渡辺 雅浩 ~クラブ会報委員会の一年間~

数ある委員会の中で一番恐れていた クラブ会報委員会 の配属というのが正直な気持ちでした。子供みたいな話ですが、自身では「会報編集」というのが、最も苦手と思い込んでいましたし、実際携わっても当初の予想通りでした。

会員の皆様方も大変多忙な方が多いかと思いますが、私の場合、ただの営業マンで県外勤務も多いため、原稿提出期限との戦いでした。提出する原稿作成もセンスがなく、委員長の齋藤弘之さんには随分助けていただきました。

ロータリークラブの組織に入った以上、何処に配属されるかは分かりませんし、好きな事ばかり出来るとは限りません。何とか苦手を克服出来るよう精進して参りたいと思います。

会報委員会委員 木村 昇 ~会報を作成して思った事~

ゲストスピーカーが何を一番言いたいのか?

ロータリアンは何を聞きたいのかを考え、要約するのが非常に難しかった。

ウィークリーレポート



福島南ロータリーの会報である、【ウィークリーレポート】のWeb版です。タイムリーに更新しています。

- WEEKLY REPORT vol. 41 [Web版] → [CLICK!!](#)
- WEEKLY REPORT vol. 40 [Web版] → [CLICK!!](#)
- WEEKLY REPORT vol. 38 [Web版] → [CLICK!!](#)
- WEEKLY REPORT vol. 37 [Web版] → [CLICK!!](#)
- WEEKLY REPORT vol. 36 [Web版] → [CLICK!!](#)
- WEEKLY REPORT vol. 34 [Web版] → [CLICK!!](#)
- WEEKLY REPORT vol. 33 [Web版] → [CLICK!!](#)
- WEEKLY REPORT vol. 32 [Web版] → [CLICK!!](#)



会報委員会委員 大本 雅晴 ～1年間を通して思うこと～

皆様に助けて頂いて、何とか乗り切った一年でした。担当月をすべて対応することができなかったのも残念でした。しかし、クラブ委員の方々のフォローそして何により齋藤委員長のアドバイスは本当に助けになりました。皆様、ありがとうございました。

会報委員会委員長 齋藤 弘之 ～みんなで作った会報でした！このメンバーで良かった！～

会報委員会を2年連続経験し、2年目に自身初の委員長を今年度担当させていただきました。誰でも簡単に作れますよと、委員メンバーを誂かし、実際に全員持ち回りで（強制的に）作成していただくことで、結果的に各メンバーの個性あふれる会報になっていきました。たかだかA3判見開きですが、皆さん試行錯誤して編集し、例会の情報をきっちり掲載してくれました。次のステップで、欠席した方も会報を見て出席したくなるような、そんな会報にしたかったのですがあっという間に1年経ってしまいましたので、次年度の河野忠会報委員長に、この思いを引き継ぎたいと思います。新たな会報に生まれ変わるようですので楽しみです期待しています。

最後に、毎週メールで締め切りを迫ったり、急な作成を担当してもらったりしましたが、嫌な顔せず受けていただいたメンバーの皆様には心から感謝感謝です。正直また一緒にやりたいです！！（笑）ありがとうございました！礼

